

## 富士フィルムと三菱商事 バイオ医薬品受託製造事業で資本・業務提携 急速な市場の拡大に合わせて子会社の事業体制を強化

平成 23 年 6 月 20 日  
富士フィルム株式会社  
三菱商事株式会社

富士フィルム株式会社(社長:古森 重隆)と、三菱商事株式会社(社長:小林 健)は、医薬品市場で拡大が見込まれるバイオ医薬品の受託製造事業において業務提携することを決定し、富士フィルムの 100%子会社のバイオ医薬品受託製造 2 社 FUJIFILM Diosynth Biotechnologies U.S.A., Inc.(米国 以下 FDBUS 社)と FUJIFILM Diosynth Biotechnologies UK Limited(英国 以下 FDBUK 社)の発行済み株式 20%を三菱商事に譲渡する契約を締結いたしました。今後、富士フィルムとともに三菱商事は FDBUS 社・FDBUK 社の経営に参加し、バイオ医薬品受託事業拡大を強力に進めていきます。

バイオ医薬品は、化学合成では達成できない薬理作用がある複雑な構造を持ったタンパク質などの生体分子<sup>※1</sup>を活用した医薬品です。がんやリウマチなど、未だに有効な治療方法が確立されていないアンメット・メディカル・ニーズが高い一部の疾患領域では、有効な治療薬として期待が高まっています。副作用が非常に少なく、高い効能が期待できることから、医薬品市場におけるバイオ医薬品の割合は今後ますます拡大すると予想されており、同時にバイオ医薬品の受託製造も年率 15%以上の成長が見込まれています。

FDBUS 社と FDBUK 社は、富士フィルムが米国 Merck & Co., Inc.社から買収して、平成 23 年 4 月 1 日に設立したバイオ医薬品の受託製造で多くの実績を持つリーディングカンパニーです。両社は、動物細胞や微生物を利用してバイオ医薬品に使われるタンパク質を効率的に産生する高度なバイオテクノロジーを有しています。また、タンパク質の高回収率を実現する抽出・精製のプロセス開発力、解析力、経験豊かな人材や製造設備を備えています。富士フィルムは、長年の写真フィルム事業で培った生産管理や品質管理、そしてコラーゲンなどの高分子材料に関する知見を活かして両社の事業運営を進めています。

今回、富士フィルムは FDBUS 社と FDBUK 社の株式 20%を三菱商事に譲渡し、業務提携することで両社の事業体制をさらに強化して、バイオ医薬品受託事業を拡大していきます。

三菱商事は、バイオ医薬品を含む医薬品ビジネスでの長年の経験を活かして、FDBUS 社と FDBUK 社の経営に参加します。三菱商事の持つグローバルな営業ネットワークやマーケティング機能を活用して、新規顧客獲得など営業力の強化に寄与していきます。

※1 生体分子：生物の生命活動に係わっている分子レベルの物質。代表的なものにタンパク質、ペプチド、核酸などがある。医薬品としては、例えば成長ホルモンやインスリン、抗体などタンパク質が主に使われている。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

### 報道関係

富士フィルム株式会社 広報部 TEL 03-6271-2000  
三菱商事株式会社 広報部 報道チーム TEL 03-3210-2171

### その他のお問い合わせ

富士フィルム株式会社 医薬品事業部 TEL 03-6271-2171  
三菱商事株式会社 バイオ・ファインケミカルユニット TEL 03-3210-5490

### インターネットホームページアドレス

富士フィルム株式会社 <http://fujifilm.jp/>  
三菱商事株式会社 <http://www.mitsubishicorp.com/>